

2024 年度

EA-21 環境活動レポート

(2024.4.1~2025.3.31)

2025年 7月 9日



北海道電電輸送株式会社

エコアクション21

認証番号 0000658

## 1. 組織の概要

### 1.1 事業所の概要

(1) 事業所名及び代表者名

- ・事業所名 北海道電電輸送株式会社
- ・代表者名 山本 演(代表取締役社長)

(2) 所在地

- ・本社 札幌市白石区中央1条7丁目6番1号
- ・大曲営業所 北広島市大曲工業団地4丁目5番1号

(3) 法人設立年月日

1967年10月6日

(4) 資本金

2,000万円

(5) 売上高(2024年度)

118,700万円

### 1.2 事業の概要

(1) 事業の内容

一般貨物自動車輸送、貨物利用業、産業廃棄物収集運搬業、引越し、事務所移転作業、通信・電気設備運搬業、除雪業務、倉庫内物品出納業、耐電圧試験業務、携帯物流業務

(2) 許可の内容

産業廃棄物収集運搬業許可証(積替え許可無し)

許可番号	廃棄物の種類	許可年月日	許可有効年月日
北海道 第00100006829号	汚泥、廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、水銀使用製品産業廃棄物。積替保管なし。	2023年7月29日	2028年7月28日

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証(積替え許可無し)

許可番号	廃棄物の種類	許可年月日	許可有効年月日
北海道 第 00150006829 号	廃酸(pH2.0 以下)、廃アルカリ(pH12.5 以上)。積替保管なし。	2021年4月28日	2026年4月27日

(3) 施設等の状況

運搬車輛 11t車 5台、8t車 1台、3t車 1台、  
2t車 2台、1t車 2台

(4) 収集・運搬実績

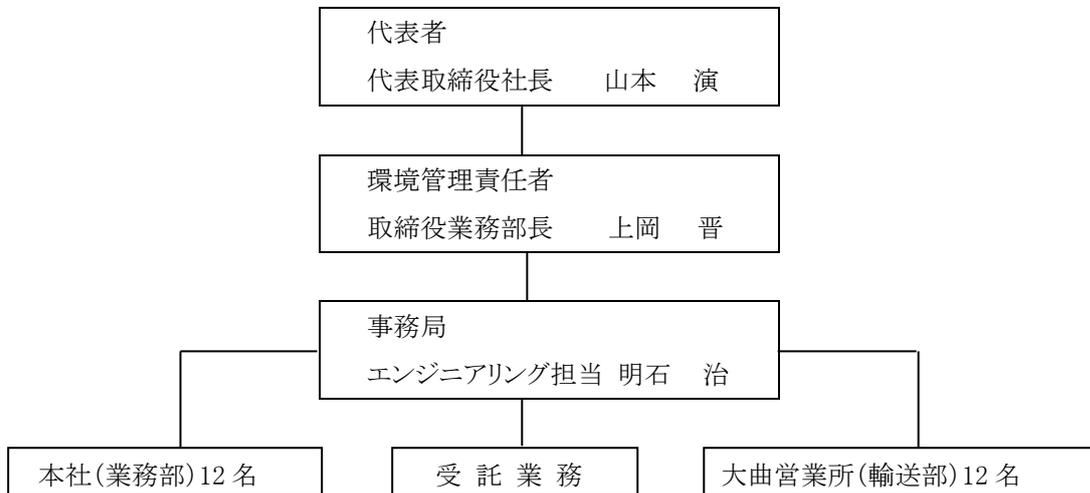
産業廃棄物収集・運搬量 3,866t

(5) 廃棄物収集・運搬料金

収集・運搬料金につきましては種類、量、運搬距離により計算いたします。  
尚、無料にてお見積り致しますのでご相談下さい。

1.3 実施体制

(1) 組織図(ea21 実施体制)



(2) 環境管理責任者及び担当者氏名、連絡先

環境管理責任者 : 業務部長 上岡 晋  
 担当者 : エンジニアリング担当 明石 治  
 連絡先 : 札幌市白石区中央1条7丁目6番1号  
 TEL 011-862-4301  
 FAX 011-862-2277  
 HP <http://www.h-dendenyuso.co.jp/>

## 1.4 事業規模

### (1) 事業の規模

事業年度：4月から翌年3月まで

活動規模	単位	2022	2023	2024	2025(計画)
売上高	百万円	1,180	1,396	1,187	1,295
従業員数	人	23	23	24	24
事業所床面積	m <sup>2</sup>	261.5	261.5	261.5	261.5
車両台数	台	15	15	16	16
産業廃棄物 収集運搬取扱量	トン	2,452	2,775	3,866	3,000

## 2.対象範囲

### (1) 認証・登録の範囲

- ・本社及び、大曲営業所の全組織

### (2) 活動範囲

一般貨物自動車運送業、貨物利用業、産業廃棄物収集運搬業、引越し、事務所移転作業、通信・電気通信・電気設備運搬業、除雪業務、倉庫内物品出納業、自家用自動車貸渡事業、耐電圧試験業務

### (3) レポートの対象期間及び発行日

- ・対象期間：2024年度(2024年4月1日～2025年3月31日)
- ・発行日：2025年7月9日

### 3. 環境方針

## 環境理念

北海道電電輸送株式会社は事業運営と地球環境を両立し、豊かで美しい自然に恵まれた北海道に根ざす企業として、住みよい地域社会を実現するために、未来にわたる生活の場である地球環境にやさしい企業活動を推進します。

## 基本方針

### 1. 企業責任の遂行

(1) 企業活動全般に関する環境問題の継続的改善及び環境汚染の未然防止に努め、企業責任を遂行します。

- ① 車両燃料の節減による CO<sub>2</sub> 排出量の削減
- ② 事務用紙使用量の削減
- ③ 電力光熱水費の削減

(2) 企業活動全般が環境に与える影響を常に認識し、環境関連法、規則、協定等を遵守し、環境汚染の予防を推進します。

(3) 社内外に広くコミュニケーションを図り、必要な情報の開示に努めます。

2. 定期的に取り組状況の評価を実施し、環境管理の見直し及び維持向上に努めます。

3. この環境方針達成のため、環境目標を設定し、社内一体となった環境保全活動の推進に努めます。

4. この環境方針は、全従業員が理解し行動出来るよう周知徹底を行うとともに、地域社会との強調連帯を図ります。

2005 年 4 月 1 日制定

2023 年 4 月 1 日改定

北海道電電輸送株式会社

代表取締役社長 山本 演

#### 4. 環境負荷の実績

当社は、荷役業務、耐電圧試験業務及び庶務、経理を行っている本社(業務部)と、トラック輸送業務を行なっている大曲営業所(輸送部)からなっており、お互い異なったロケーションで業務を行い、環境への負荷を低減するため、データを収集分析し、その改善に取り組んでおります。

##### (1) エネルギー投入量、排出量(過去4ヵ年のデータ)

###### ① 電力、暖房、車両燃料、上下水、紙、一般廃棄物

大曲営業所は、2017 年度よりオーナー企業(NTT ロジスコ)の新しい倉庫内の事務所を賃貸のため、電力と水道の使用量及び一般廃棄物の処理費用は賃貸費用に一定額として含まれています。また、暖房は電力だけの使用となっています。このことから、節電、節水及び一般廃棄物の分別や減量活動はオーナー企業の ISO 環境活動と連動して実施しています。 購買電力、暖房用灯油、都市ガス、車両燃料、一般廃棄物、上水道は次表のとおりです。

###### ① 電力、暖房、車両燃料、上下水、紙、一般廃棄物 (㈱エネット 2022 年排出係数使用)

種類	項目	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
電力	排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	6,120.4	6,453.3	6,741.4	6,784.1
灯油	排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	7,981.2	8,575.1	6,145.6	8,192.3
都市ガス	排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	34.6	30.2	30.2	25.9
ガソリン	排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	4,721.6	3,742.9	3,302.2	2,980.0
軽油	排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	348,3391.3	319,857.4	331,423.4	326,423.4
水道	上水使用量(m <sup>3</sup> )	119	115	104	99
コピー用紙	紙購入量(kg)	538	360	0	0
一般廃棄物	排出量(kg)	236	276	284	289

※ 電力の排出係数は、㈱エネット 2022 年排出係数 0.423kg-CO<sub>2</sub>/kWh使用

###### ② 産業廃棄物収集運搬取扱量

	単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
廃プラスチック	トン	120	190	215	198
廃コンクリート柱	トン	2,926	2,167	2,420	3,668
金属くず	トン	2	2	8	0
木くず(木柱、パレット)	トン	123	93	131	0
計	トン	3,171	2,452	2,775	3,866

産業廃棄物の収集・運搬については、許可業者として法規制を遵守し、適正な収集・運搬に取り組みます。

## 5. 環境目標

### 5.1 中期目標

環境目標は、2023年度を基準年度とし、2024年～2026年まで3年間の計画を定めました。

目標		単位	2023年度 (基準年)	2024年度 計画	2025年度 計画	2026年度 計画	
二酸化炭素排出量の削減	購入電力 (環境維持活動)	kwh	15,937	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコンの設定温度を28℃で厳守する</li> <li>・事務室、倉庫等の電気は、休憩時間、未使用時は消灯する</li> <li>・ストーブの設定温度を22℃で厳守する</li> <li>・作業時のウォームビズの実践する</li> <li>・ガス湯沸器の温度設定を低くし無駄を抑える</li> <li>・夏は可能な限りガス湯沸器を使用しない</li> <li>・デジタルタコメーターのデータを分析し無駄なアイドリング、急発進、急加速及び速度等の指導を毎月行う</li> <li>・『エコドライブ10のすすめ』を備え付け、エコドライブを推進する</li> <li>・アイドリングストップを励行する</li> <li>・運行前点検によるタイヤ空気圧の点検を実施する</li> </ul>			
		kg-CO <sub>2</sub>	6,741				
	灯油 (環境維持活動)	L	2,468				
		kg-CO <sub>2</sub>	6,146				
	都市ガス (環境維持活動)	Nm <sup>3</sup>	14				
		kg-CO <sub>2</sub>	30				
	ガソリン (環境維持活動)	L	1,423				
		kg-CO <sub>2</sub>	3,302				
	軽油 (環境維持活動)	L	128,459				
		kg-CO <sub>2</sub>	331,423				
二酸化炭素排出量		kg-CO <sub>2</sub>	347,643	環境維持活動として、毎月測定管理を実施し、異常値が無いか確認を行う			
水使用量の削減 (環境維持活動)		m <sup>3</sup>	104	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道水は使用時以外には水栓蛇口を閉める</li> <li>・洗車時は水を出しっ放しにしない</li> </ul>			
紙使用量の削減 (環境維持活動)		kg	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーレス化を図るため、</li> <li>・会議等資料はプロジェクターを使用する</li> <li>・社内ネットワーク、Eメールを使用する</li> </ul>			
一般廃棄物排出量の削減 (環境維持活動)		kg	284	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排出量を把握する</li> <li>・廃棄物の分別を徹底する</li> <li>・不要紙類をリサイクルする</li> </ul>			
化学物質管理		PRTR法で管理する化学物質の使用は有りません。					
事故の削減	作業事故	輸送課	件	3	0	0	0
		荷役課	件	0	0	0	0
	交通事故	件	1	0	0	0	

※ 電力の排出係数は、(株)エネット 2022年排出係数 0.423kg-CO<sub>2</sub>/kWh使用

### 5.2 単年目標

- ・全従業員に対する環境経営方針や計画した環境目標・経営計画についての教育を「環境活動レポート」を資料として行う。
- ・緊急事態を想定した「油漏れ訓練」を実施し、緊急事態の運用手順が妥当かを確認する。
- ・四半期毎の累計が基準年同月比で10%以上の実績オーバー或いは手順通りに取組が実施されていないと判断した場合は、是正及び予防処置を行うこと。

## 6. 環境活動計画

期間: (2024年4月1日～2025年3月31日)

環境方針	環境目標		環境活動の取組事項	実施部門
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減 (環境維持活動)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコンの設定温度を28℃で厳守する</li> <li>・事務室、倉庫等の電気は、休憩時間、未使用時は消灯する</li> </ul>	総務担当課長 総務担当 エンジニアリング担当
	灯油使用量の削減 (環境維持活動)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストーブの設定温度を22℃で厳守する</li> <li>・作業時のウォームビズの実践する</li> </ul>	総務担当課長 総務担当 エンジニアリング担当
	都市ガス使用量の削減 (環境維持活動)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガス湯沸器の温度設定を低くし無駄を抑える</li> <li>・夏は可能な限りガス湯沸器を使用しない</li> </ul>	総務担当課長 総務担当 エンジニアリング担当
	ガソリン使用量の削減 (環境維持活動)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルタコメーターのデータを分析し無駄なアイドリング、急発進、急加速及び速度等の指導を毎月行う</li> <li>・『エコドライブ10のすすめ』を備え付け、エコドライブを推進する</li> </ul>	輸送担当課長 エンジニアリング担当 課長 総務担当課長 輸送担当 エンジニアリング担当
	軽油使用量の削減 (環境維持活動)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイドリングストップを励行する</li> <li>・運行前点検によるタイヤ空気圧の点検を実施する</li> </ul>	エンジニアリング担当 総務担当 ドライバー
水使用量の削減	水使用量の削減 (環境維持活動)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道水を使用時以外は水栓蛇口を閉める</li> <li>・洗車時は水を出しっ放しにしない</li> </ul>	総務担当課長 総務担当 エンジニアリング担当
紙使用量の削減	水使用量の削減 (環境維持活動)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーレス化を図るため、</li> <li>・会議等資料はプロジェクターを使用する</li> <li>・社内ネットワーク、Eメールを使用する</li> </ul>	総務担当課長 総務担当 エンジニアリング担当
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減 (環境維持活動)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・排出量の把握する</li> <li>・廃棄物の分別を徹底する</li> <li>・不要紙類をリサイクルする</li> </ul>	エンジニアリング担当 課長 輸送担当課長
化学物質管理	PRTR法で管理する化学物質の使用は有りません。			
事故の削減	作業事故	輸送事故	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何に起因して発生したかそれぞれに原因を究明する</li> <li>・安全連絡会の開催、安全ミーティングの実施、KYT訓練の実施など対策を講じる</li> <li>・事故発生の都度、協力会社へ周知し再発防止を図る</li> </ul>	輸送担当課長 エンジニアリング担当 課長 総務担当課長 輸送担当 エンジニアリング担当 総務担当 ドライバー
		作業事故		
	交通事故			
安全パトロールの実施	社員教育を実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故やクレームなど重大インシデントを重点項目として追加し、安全パトロールを実施する</li> </ul>	業務部長 輸送部長
緊急事態を想定した訓練	社内訓練を実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の対応を想定した訓練を行い、運用手順の有効性や妥当性を確認する</li> </ul>	業務部長 輸送部長
環境清潔化活動	事務所敷地内外の清掃と草刈		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務所敷地内外の清掃、草刈を年2回実施し地域環境の清潔化を図る</li> </ul>	業務部長 輸送部長

## 7. 環境目標の実績、環境活動の取組結果と評価、次年度の環境目標・取組内容

### 7.1 環境目標の実績

環境目標に対する達成状況は以下の通りです。

(判定基準は、目標値より削減5%以上:◎、目標値より削減5%未満:○、目標値より増加:×)

環境目標		単位	2023年度 (基準年)	2024年度 目標値	2024年度実績値		判定	
					実績値	目標値比較		
二酸化炭素排出量の削減	購入電力	kwh	15,937	15,937	16,038	0.6%増加	×	
	化石燃料	灯油	L	2,468	2,468	3,290	33.6%増加	×
		都市ガス	Nm <sup>3</sup>	14	14	12	14.3%削減	◎
		ガソリン	L	1,423	1,423	1,285	9.7%削減	◎
		軽油	L	128,459	128,459	126,673	1.4%削減	○
	二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	347,643	347,643	344,799	0.8%削減	○	
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	104	104	99	4.8%削減	◎		
紙使用量の削減	kg	0	0	0	0%削減	◎		
一般廃棄物排出量の削減	kg	284	284	289	1.8%増加	×		
化学物質管理	PRTR法で管理する化学物質の使用は有りません。							
事故の削減	作業事故	輸送課	件	2	0	6	4件増加	×
		荷役課	件	1	0	0	0件達成	◎
	交通事故	件	0	0	0	0件達成	◎	

※ 電力の排出係数は、(株)エネット 2022年排出係数 0.423kg-CO<sub>2</sub>/kWh使用

## 7. 2次年度からの環境目標と取組内容

環境目標は、2023年度を基準年度とし、2024年～2026年まで3年間の計画を定めました。

なお、目標数値は2023年度基準値実績を維持する(オーバーしない)目標値とする。

目標		単位	2023年度 (基準年)	2024年度 計画	2025年度 計画	2026年度 計画	
二酸化炭素排出量の削減	購入電力 (環境維持活動)	kwh	15,937	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコンの設定温度を28℃で厳守する</li> <li>・事務室、倉庫等の電気は、休憩時間、未使用時は消灯する</li> <li>・ストーブの設定温度を22℃で厳守する</li> <li>・作業時のウォームビズの実践する</li> <li>・ガス湯沸器の温度設定を低くし無駄を抑える</li> <li>・夏は可能な限りガス湯沸器を使用しない</li> <li>・デジタルタコメーターのデータを分析し無駄なアイドリング、急発進、急加速及び速度等の指導を毎月行う</li> <li>・『エコドライブ10のすすめ』を備え付け、エコドライブを推進する</li> <li>・アイドリングストップを励行する</li> <li>・運行前点検によるタイヤ空気圧の点検を実施する</li> </ul>			
		kg-CO2	6,741				
	化石燃料	灯油 (環境維持活動)	L		2,468		
			kg-CO2		6,146		
		都市ガス (環境維持活動)	Nm <sup>3</sup>		14		
			kg-CO2		30		
		ガソリン (環境維持活動)	L		1,438		
			kg-CO2		3,302		
	軽油 (環境維持活動)	L	128,459				
		kg-CO2	331,424				
二酸化炭素排出量		kg-CO2	347,643	環境維持活動として、毎月測定管理を実施し、異常値が無いか確認を行う			
一般廃棄物排出量の削減 (環境維持活動)		kg	284	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排出量の把握する</li> <li>・廃棄物の分別を徹底する</li> <li>・不要紙類をリサイクルする</li> </ul>			
水使用量の削減 (環境維持活動)		m <sup>3</sup>	104	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道水は使用時以外には水栓蛇口を閉める</li> <li>・洗車時は水を出しっ放しにしない</li> </ul>			
事務用紙使用量の削減 (環境維持活動)		kg	23年実績 0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーレス化を図るため、</li> <li>・会議等資料はプロジェクターを使用する</li> <li>・社内ネットワーク、Eメールを使用する</li> </ul>			
化学物質管理		PRTR法で管理する化学物質の使用は有りません。					
事故の削減	作業事故	輸送課	件	2	0	0	0
		荷役課	件	1	0	0	0
	交通事故		件	0	0	0	0

※ 電力の排出係数は、(株)エネット 2022年排出係数 0.423kg-CO2/kWh使用

### 単年目標

- ・中期目標に掲げている「交通事故0」「作業事故0」の目標を達成するために、事故の原因及び再発防止策を全社及び協力会社にも共有させるように指示する。
- ・緊急事態を想定した訓練を実施し、緊急事態の運用手順が妥当かを確認するよう指示する。
- ・手順書の見直しを行い、現状に即していない場合は手順書の改訂を行う。

#### (1) 電力使用量

基準年に比較し 0.6%増加しました。要因として、安全器具・工具等耐電圧試験の作業量が増加し、電力の使用頻度が増加したことが考えられます。

しかしながら、省エネ、節電の考えは定着しています。今後もOA機器の省エネモードの活用、必要最小限の点灯、5月以降はクールビズを実施し、電力使用量の削減を図りつつ、「環境維持活動」として取り組んでいきます。

#### (2) 灯油使用量

基準年に比較し 33.6%増加しました。要因として、基準年に冬季間の寒さが厳しかったと考えます。

今後も、11月以降にウォームビズを実施し、事務所の暖房温度設定を22度に保ち、灯油使用量の削減を図りつつ、「環境維持活動」とします。

#### (3) 都市ガス

基準年に比較し 14.3%削減になりました。使用量は 2Nm<sup>3</sup> の減少で 12Nm<sup>3</sup> でした。今後も、使用量を 10 Nm<sup>3</sup> 台で維持していけるよう監視し、「環境維持活動」とします。

#### (4) 車両燃料使用量

##### ① ガソリン車

基準年に比較し 9.7%削減になりました。要因として、基準年に比べ降雪量は同じ位だったが、除雪体制が強化されたためと考えられます。km当りのkg-CO<sub>2</sub>を比較すると営業所バンが増加し、本社乗用車も微増になりましたが、他2台は削減しました。今後もエコドライブの意識を高めて CO<sub>2</sub> の削減を図りつつ、「環境維持活動」とします。

##### ② ディーゼル車

基準年に比較し 1.4%削減になりました。要因として、運送量の増加が考えられます。

km当りのkg-CO<sub>2</sub>を比較すると11t、2t車は基準年と同じで、1t車は削減され、8t、3t車については微増になりました。クレーン付車両(11t、8t)の燃費については、走行距離ばかりではなく、積載貨物の重量やクレーン作業の回数などが影響しています。また、2024年度は産廃コンクリート柱が基準年より増加していることから、11t車5台のクレーン付車両の燃費が改善されていると思われます。今後も経過を観察し、データを用いて燃費改善の指導を定期的に行い、エコドライブの意識を更に高めて CO<sub>2</sub> の削減を図りつつ、「環境維持活動」とします。

車両の燃料節減による CO<sub>2</sub> 排出量削減

	2023 年度(基準年)		2024 年度	
	ℓ/km	CO <sub>2</sub> /km	ℓ/km	CO <sub>2</sub> /km
ガソリン車				
営業所バン	0.099	0.230	0.100	0.233 →
本社バン	0.081	0.188	0.067	0.155 →
本社乗用車	0.055	0.127	0.060	0.139 →

	2023 年度(基準年)		2024 年度	
	ℓ/km	CO2/km	ℓ/km	CO2/km
ディーゼル車				
11t 車	0.337	0.885	0.337	0.885 →
8t 車	0.199	0.524	0.208	0.546 ↗
3t 車	0.176	0.463	0.180	0.473 ↗
2t 車	0.135	0.354	0.135	0.354 →
1t 車	0.092	0.242	0.088	0.231 ↘

(注) ↗ は基準年比較での増減を表す

(5) 上下水道使用量

基準年に比較し 4.8%削減でき良好と判断されます。今後も節水に努め、水道使用量の削減を心掛け、「環境維持活動」とします。

(6) 紙使用量

基準年と同じ 0 でした。本社と営業所間および主なお客様との情報の受け渡しは、社内ネットワーク、Eメールを使用し、また、会議での資料等は、プロジェクターを使用し、ペーパーレス化を図りつつ、「環境維持活動」とします。

(7) 一般廃棄物

基準年に比較し 1.8%増加しました。発生する一般廃棄物については、計量を実施し再資源化の可否を厳選し、適正処理を図りつつ、「環境維持活動」とします。

(8) 化学物質管理

現在、PRTR法で管理する化学物質の使用は有りません。今後管理が必要な化学物質の使用が発生した場合は、適正に管理します。

(9) 作業事故、交通事故の減少を図る。

交通事故は基準年より1件減少し 0 件、荷役の作業事故も基準年と比較し1件減少し 0 件、輸送の作業事故は基準年と比較し 4 件増加し 6 件となりました。

都度、原因究明を行い、再発防止対策を検討し、協力会社への周知と共有を行っています。

交通事故は今後も 0 件を目指し安全を徹底させることはもちろん、作業事故は協力会社が 6 件で、直営の事故 0 件を維持することはもちろんのこと、協力会社、備車へも安全を徹底させることも必要と考え、協力会社とは年1回の安全連絡会の開催し、時期を定めて安全研修会、安全パトロール等を行っています。また、従業員の安全への意識付けのためセーフティラリーへの全員参加全員完走を事業計画に取り入れ実施しています。

(10) 緊急事態を想定した訓練を実施。

緊急事態「オイル漏れ」を想定した訓練を実施しました。(11月)



(11) 事務所周辺の清掃等、環境清潔化活動

事務所敷地および駐車場は住宅地にも関わらず路上駐車が多く、マナーの悪い車から飲料の缶・ボトル、タバコの吸殻等が歩車道等に捨てられたりしますが、始業前のごみ拾いの随時実施、また事務所敷地内外の清掃、草刈を年2回実施し地域環境の清潔化に取り組んでいます。





8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

主な環境関連法規制及び同意事項	当社の対応	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律、令、規則	産業廃棄物及び一般廃棄物の適正処理 収集運搬基準の遵守 許可更新の期日厳守 委託契約書締結、要件確認、保存 管理票の適正な交付・回付 実績報告	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	第一種特定製品の簡易点検(3ヶ月毎)、 定期点検(3年に1回)	○
道路運送車両の保安基準	騒音防止 有害なガス等の発散防止	○
消防法	消防設備の点検と報告 危険物取扱数量の管理	○
家電リサイクル法	TV、洗濯機、冷蔵庫、エアコンの廃棄	○
自動車リサイクル法	自動車の廃車手続き	○

#### ① 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

当社は関連法規制及び同意事項の遵守状況確認を毎年 1 回実施しており、その結果、違反・訴訟及び地域住民等からのクレームはありませんでした。又、今後も環境関連法規と社会的要求事項を進取し適時改善を行い更なる環境保全活動の制度の向上を図っていきます。

#### ② その他

- ・さっぽろエコメンバーに登録しています。(2027年4月21日まで有効)
- ・全日本トラック協会で行なっている、貨物自動車運送適正化事業の「安全性優良事業所」に認定されています。(2026年12月31日まで有効)
- ・鉄道輸送を推進するために、第二種貨物利用運送事業免許を取得しています。
- ・交通事故「0」に向けた従業員の安全意識の高揚の取組みの一環として、(社)札幌地区トラック協会主催のセーフティラリーに全員参加(6チーム30名)し、全チームが完走しました。
- ・プライバシーマークの認証取得(2012年7月)を機に、従業員教育及び協力会社教育等を実施し、個人情報保護活動にも積極的に取り組んでいます。

### 9. 代表者による全体評価と見直しの結果

当社は、エネルギーの効率的利用及び日常的なエネルギーの節約を、長年ルールを決め取り組んできており、ほぼ活動が定着したこと、また電気、ガス、灯油、車両燃料等は、気温差、業務量及び業務内容等が一定でないことなどから、比較が難しく現在は環境維持活動として取り組んでおり、今後も毎月定期的に使用量を数値で把握し続けることとします。

事故については、年度当初から、交通事故0件、作業事故0件を目標に協力会社に対し安全連絡会等で指導を行い、各種施策に取り組んできましたが、交通事故は0件達成し、作業事故は基準年と同じ3件と、事故を削減することは、なかなか難しいことです。事故発生の都度、協力会社にも事故情報を共有し、安全ミーティング、KYT等を実施し、再発防止を指示してきましたが、交通事故、作業事故の撲滅が今後における最大の課題であり、2024年度事業計画の重点施策として取り組み、事故“0”を目標に、2023年度に発生した事故の再発防止策の再周知及び事故の要因を安全パトロールでの重点項目として確認を実施し、各種安全施策を実行して行くこととします。

また、緊急事態を想定した訓練を毎年行っていますが、2024年度はオイルの漏洩対応について、運用手順の妥当性を確認しながら訓練を実施しました。

実施体制については、前年度と変更はありません。

中期目標に掲げている「交通事故0」「作業事故0」の目標を達成するために、事故の原因及び再発防止策を本社及び協力会社にも共有させること、緊急事態を想定した訓練を実施し、緊急事態の運用手順が妥当かを確認すること、運用手順書の見直しを行い、現状に即していない場合は運用手順書の改訂を行うことを指示する

以上